

関西聚 活動報告書

活動名： レッツ久宝探検隊 活動日：2017.1.22（日）10：00～12：00

リーダー名：伊東 俊廣

報告者：伊東 俊廣

参加者：

スタッフ：山本勲（講師）、大川、上田、林、岩崎、伊東

参加者：25名

久宝寺：魚谷さん、更工副所長、松本さん

1月22日（日）の活動内容：小鳥の巣箱を作る

1. 講師の説明

巣箱に入り易い鳥の種類

竹を使った巣箱作りについて：注意点などを説明

2. 孟宗竹を使って実際に作ってみる（1家族に1個とした）

縦置き、横置きなど、材料に合わせて参加者が決めて製作。小鳥が入る穴は基本スタッフがあける。水抜き穴、取り付け穴などもドリルであけた。

完成後ラベルプリンターで姓を印刷し取り付け、全員で記念写真

3. 美交工業が高所作業車を用意、更工さんと家族が乗り込みシュロ縄と番線も使用して巣箱を取り付けた。（ヘルメット、安全帯を使用）今回架けた巣箱は8個

4. 配布物

巣箱の資料とともに3月のGSガイダンスの資料を参加者に配布

活動報告・次回案内・感想など

冬本番の寒い1日だった。午前中はなんとか活動できる予定だったが、それでも屋外作業は少しきつい。

材料の竹は13本ほど用意したが、参加者は25人と予想以上で少し困りながらも嬉しい限りだ。1家族に1個作ってもらうこととイベント開始。今回鳥が入る穴の大きさは30mm前後とし、ドリルできれいにあけた。シジュウカラなどの営巣を期待しているが、ネットをみるとなかなか難しいようだ。今回のイベントで好評だったのが、高所作業車での取り付け作業。ヘルメット、安全帯を付けて、更工さんと一緒に乗り込み希望のところへ取り付けしたが、こういう経験は当然初めてで、寒さにも拘わらずほぼ全員体験した。なわばりの問題もあるので、小鳥が入ってもどれか1個と思うが、どれが気に入ってくれるのか楽しみだ。

昼に近くなるにつれ寒さが増してきたので、取り付け終了の家族から事務所に戻ってもらい、流れ解散とした。

5年前の巣箱が樹上に2個残っていたので、取り外して中を見てみると1個にはヤモリが2匹冬眠中だった。

次回2月のレッツ久宝探検隊の活動は

平成29年2月26日（日）七草がゆを食べてみるです。

活動写真



竹の巣箱の説明



巣箱づくり1



巣箱づくり2



巣箱づくり3



巣箱づくり4



巣箱の完成



巣箱かけ



高所作業車に乗る



高所作業車の巣箱かけ



はしごで巣箱かけ



巣箱かけ完了

たくさんのご参加、ありがとうございました！

※フラウサを閉じてお戻りください☆